

第2学年 社会科 学習指導案

日 時 平成27年11月5日（木） 5校時
学 級 2年（男子11名 女子19名 計20名）
場 所 2年教室
指導者 作山 伸

1 単元名

第3章 日本の諸地域 第5節 関東地方

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校社会科学習指導要領の2内容の(2)のウ「日本の諸地域」にあたり、「日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、以下の（ア）～（キ）で示した考察の仕方に基づいて、地域的特色をとらえさせる。」のうち「（キ）他地域との結び付きを中核とした考察。地域の交通・通信網に関する特色ある事象を中核として、それを物資や人々の移動の特色や変化などと関連付け、世界や日本の他の地域との結びつきの影響を受けながら地域は変容していることなどについて考える。」ことをねらいとしている。

関東地方には人口が集中しており、産業が発展し、日本の政治・経済の中心地となっている。さまざまな機能が集中している首都・東京の存在。東京を中心として発達した交通網によって地域内、国内の各地方、さらには海外と強く結びついていること。人口の集中と交通網の整備による産業の発達とそれに伴うさらなる人口の流入。大学などの教育機関が多く集まるなど文化や情報の中心にもなっている、などが関東地方が日本の中心地となっている理由として考えられる。このことから「他地域との結び付きを中核とした考察」として学習するのにふさわしい地域であると考えられる。

人口の集中には「東京と他の地方との格差の拡大」や「通勤ラッシュやヒートアイランド現象等の都市問題」などの負の面があることもきちんと扱っていききたい。

(2) 生徒観

地図の読みとりや雨温図などの作図、単元末のワークを使っての学習のまとめなどの作業に対してきちんと取り組むことができる。授業に対して興味・関心を持ち、積極的に参加しようとする生徒が多い。授業中の発言も多いが、深く考えずに関係のない既習事項を発言する場面もあり、知識がしっかり定着していない傾向がある。授業の中で意識して既習事項と関連づけた発問を行ったり、歴史の授業の中で地図を活用するようにしている。

社会科では授業で学習した中から「わかったこと」「興味を持ったこと」「自分の身近なこととつながっていること」などについてノートに書かせている。「わかったこと」を書く生徒が多いが、過疎化の授業では葛巻と関連づけた内容を書いたり、「近郊農業で新鮮なうちに出荷する」ことと「地元の産直に出荷する」のは同じ発想ではないかと書いてくる生徒がいるなど、自分達の生活につながるものも少しずつ見られるようになってきた。良い例を紹介しながら、授業だけで完結するのではなく、実際の社会に対する関心を高めていきたい。

(3) 指導観

関東地方の中でも「東京」は修学旅行で訪問する予定であること、テレビ番組等で取り上げられる場面が多いこと、などから生徒達の興味・関心は高いと思われる。生徒達にとって興味・関心を持ちやすい身近な話題を入りにし、産業や首都の役割、交通網、都市問題などについての学習を深めていきたい。

「都市の過密問題」については「中国・四国地方」で、「ヒートアイランド現象」については「九州地方」で、「都市と郊外の成り立ち」と「ニュータウン」については「近畿地方」で、「世界や日本の交通・通信」については「世界と日本の結びつき」で、「ドーナツ化現象」については「日本の過疎・過密問題」で、それぞれ学習済みである。これらの既習事項とも関連付けながら学習を深めていきたい。

3 単元の指導目標と評価規準

(1) 指導目標

- ・ 関東地方の地域的特色について、東京に日本を動かす中枢機能が集中していることに着目して、日本各地や世界との結び付きをとらえさせる。
- ・ 関東地方の変容を、東京を中心とした市街地の拡大、他地域との結び付きをとらえさせる。

(2) 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
・他地域との結びつきを中核とした考察の仕方を基に、関東地方の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。	・関東地方の地域的特色を、他地域との結びつきを中核とした考察の仕方を基に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・関東地方の地域的特色に関するさまざまな資料を収集している。 ・収集した資料から、関東地方の地域的特色について有用な情報を適切に選択している。 ・適切に選択した情報を基に、関東地方の地域的特色について読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・関東地方について、他地域との結びつきを中核とした考察の仕方を基に地域的特色の知識を身に付けている。

4 単元の指導と評価の計画

5 節 関東地方 (本時 3 / 5)

時	テーマ	内容	関	思	技	知	備考
1	関東地方の生活の舞台	・ 平野が広い面積を占める地方 ・ 太平洋側の気候			○	○	
2	関東地方の人々の営み	・ 高い人口密度と放射状の交通網 ・ さかんな産業活動			○	○	
3	首都・東京と各地の結びつき	・ さまざまな機能が集まる東京 ・ 通勤・通学圏と都市機能の分散	○			○	
4	各地との結びつきで成り立つ産業と生活	・ 東京湾岸と北関東の工業地域 ・ 各地に広がる農地、畜産地、充実した保養地、行楽地	○	○			
5	世界への窓口・日本の中心	・ 世界への窓口としての関東地方 ・ 日本の中心としての関東地方 ・ 関東地方の学習を振り返って		○	○		

5 本時について

(1) 目標

東京にさまざまな機能が集中しており、人々が集中していることを理解することができる。

(2) 評価規準

観点	社会的事象への関心・意欲・態度	修学旅行という身近な題材から東京の特色について興味・関心を持って授業に臨んでいる。
	社会的事象についての知識・理解	東京に人々が集中している理由を、東京が政治、経済、情報、文化の中心であることから説明している。

(3) 指導の構想

① 「見通す」にかかわって

課題設定で学習のゴールを示すとともに、既習事項を元に答えを予想させることで、本時の学習に見通しを持たせる。

②「振り返る」にかかわって

東京が政治、経済、情報、文化の中心であることについて学習した中から、「東京に人口が集中している理由がわかった」などのように「わかったこと」、「東京の交通網についてもっと知りたくなった。」などのように「興味を持ったこと」、「修学旅行に実際に行って、東京のことをもっと知りたい。」などのように「自分の身近なこととつながっていること」について書かせたい。

